

阿蘇地域から熊本の復興を支える 阿蘇郡市7市町村長が阿蘇神社で「共同宣言」を発表

8月27日、平成28年熊本地震で大きな被害から復活を遂げた阿蘇神社にて阿蘇市町村会長である草村町長をはじめとする阿蘇郡市7市町村長が集まり、「熊本の復旧・復興を支えるために」と題した共同宣言を行いました。

地震の発生以降、旅行の見合わせなどが見られますが、高森町をはじめ阿蘇地域の施設や店舗の多くは通常通り営業を続けています。

前回の熊本地震の際にも、全国から暖かいご支援をいただきながら復興を歩んできた阿蘇地域だからこそ、日常の暮らしや経済活動を止めずに活力を維持することが、被災地を息長く支え続ける大きな力になります。

宣言では、被災地への人的・物的支援を最優先で継続することに加え、阿蘇地域が経済の活力を維持し続けることが熊本県全体の復興支援につながることを確認しました。

あわせて国内外へ多言語でメッセージを発信し、「正確な情報を確認のうえ、ぜひ阿蘇へお越しください」と広く呼びかけています。



阿蘇神社楼門前での記念撮影



共同宣言式の様子

災害時に温かい食事を迅速に 阿蘇市町村会と熊本県キッチンカー協会が協定を締結

8月27日、阿蘇神社において「災害時における物資及びサービス等供給に関する協定」の署名式が行われ、草村町長をはじめとする阿蘇郡市7市町村と熊本県キッチンカー協会(大塚清美会長)が協定を締結しました。

本協定は、大規模災害が発生した際にキッチンカーの機動力を生かし、避難所等へ温かい食事や生活物資を迅速に届ける体制を整えるものです。食物アレルギーへの配慮や、阿蘇郡市間での相互支援体制も盛り込まれています。

今後は平常時においても、町との連携を深め、地域の防災力向上と町民の安心・安全な暮らしの確保に努めてまいります。



署名の様子



左：草村町長

右：熊本県キッチンカー協会大塚会長



記念撮影の様子